



熊野神社御神像

御神像として立派なものには、京都松尾神社のものがあるが、当熊野神社の御神像も地方神像としては珍しく立派な作である。

御神像は、熊野神社本殿三社にそれぞれ男神一体、女神一体の二体ずつ合計六体が安置されている。容姿作法から、製作年は藤原末期から鎌倉初期にかけてのものと、室町初期のものとの考えに二分されている。しかし男神、女神ともに彩色（白、緑、赤）のあとが見られ、両まぶたのふくらみや眉ののび、それに高い鼻としまった口もとには古い時代がよく象徴されている。

所在地 慶徳町新宮字熊野 熊野神社

指定年月日 昭和四十二年四月四日